

# S S T P (Shoyo Simple Teaching Plan)

単元デザイン

教科・科目	外国語（英語）・コミュ英Ⅱ	学科・コース	2年 普通科					
単元名	Chapter 7 Palm Oil from Diamond Island (増進堂 NEW FLAG II English Communication)							
単元目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自然保護問題について、話される速さや、使用される語句等において、一定の支援を活用すれば、さまざまな立場の人々の考え方を理解し、物事を多角的に捉えることができる。</li> <li>・自然保護問題について、使用する語句等において、一定の支援を活用すれば、聞いたり読んだりしたことを基に、自分の考えを論理的に話すことができる。</li> </ul>							
課題	ダイヤモンド島という架空の島の自然保護問題について、どのような解決法があるでしょうか。立場の違う人々の考えを理解して、自分の考えをまとめてみましょう。							
単元の中心となる問い	自分の考えを相手に伝えるためには、どのように発表を工夫すればいいだろうか。							
評価規準 (B段階)	知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度			
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ダイヤモンド島という架空の島の自然保護問題について、さまざまな立場の人々の考え方を理解している。</li> <li>・自分の考えを相手に論理的に伝えるために必要な技能を身につけている。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・自然保護問題について、どのような解決法があるか概要や要点を捉えている。</li> <li>・「アブラヤシのプランテーション」について、自分の考えを論理的に相手に話している。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・自然保護問題について、どのような解決法があるか概要や要点を捉えようとしている。</li> <li>・「アブラヤシのプランテーション」について、自分の考えを論理的に相手に話そうとしている。</li> </ul>			
	SP9	基 奏 発	SP9	見 分 創	SP9 彩 連 寄			
評価場面 ・ 評価方法	知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度			
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小テスト</li> <li>・単元テスト</li> <li>・パフォーマンス課題</li> <li>・定期考査</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・言語活動</li> <li>・単元テスト</li> <li>・パフォーマンス課題</li> <li>・定期考査</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・言語活動</li> <li>・パフォーマンス課題</li> </ul>			
単元の 指導計画	時	学習活動			指導と評価の観点			
					知	思	態	SP9
	1	Chapter 7 の導入、Part 1 の概略をつかむ			○			見聞力 基礎力
	2	Part 1を踏まえたスピーキング活動				○		分析力 発信力
	3	Part 2の概略をつかむ・スピーキング活動			○			分析力 発信力
	4	Part 3の概略をつかむ・スピーキング活動			○			分析力 発信力
	5	Part 4の概略をつかむ			○			基礎力 見聞力
	6	Part 4を踏まえたスピーキング活動				○		分析力 発信力
	7	Chapter 7 のまとめ、スピーキング活動《本時》				◎	○	連携力 発信力
8	Chapter 7 のまとめ、ライティング活動				◎	○	自彩力 創造力	

※本時の実際は裏面にあります。

# S S T P (Shoyo Simple Teaching Plan)

授業デザイン

日時	令和4年11月7日(月) 6限目	指導者	黒原 久美子	
学級	2年1組(39名)	場所	2年1組教室	
単元名	Chapter 7 Palm Oil from Diamond Island (増進堂 NEW FLAG II English Communication)			
課題	ダイヤモンド島という架空の島の自然保護問題について、どのような解決法があるでしょうか。立場の違う人々の考えを理解して、自分の考えをまとめてみましょう。			
本時の実際	過程	主な学習活動	資質・能力の育成の工夫	SP9
	導入 (10分)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前時までの復習</li> <li>アブラヤシのプランテーションについて、質問へ答えながら、さまざまな立場の人々の考え方をまとめる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アブラヤシのプランテーションについて、さまざまな立場の人々の考え方をまとめて整理する。</li> </ul>	分析力
	展開 (30分)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒は、3人1組のグループを作る。このグループを「ホームグループ(HG)」とする。</li> <li>・教師は、生徒の役割を決めて、それぞれの生徒にその役割を提示する。</li> <li>・生徒は同じ担当箇所の別のHGメンバーの生徒とともに「専門家グループ(EG)」を作る。</li> <li>・EGで担当箇所の内容の理解を深めるとともに、それぞれの立場の意見を相手に分かりやすく伝える方法を工夫する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・専門家グループごとに資料を配布する。それぞれの役割について相互に確認して、内容理解を深める。</li> <li>・それぞれの役割で発表内容をまとめ、練習する。</li> </ul>	見聞力 連携力 発信力
	まとめ (10分)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・HG内で話し手と動画撮影者の順番を事前に決めておく。</li> <li>・HGへ戻って互いに発表し、不明な点は質問したり討論したりする。</li> <li>・スピーキング活動に関する簡単な振り返りをする。</li> <li>・ロイロノートで発表の動画と事後アンケートを提出する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・HGでの話し合いを通して、協力しながら自分の考えを深める。</li> <li>・ループリックやアンケートで生徒が自身の発表への取り組みの振り返りができる。</li> </ul>	発信力 連携力 寄与力 自奏力